

衆議院法務委員会ニュース

平成 26.10.15 第 187 回国会第 2 号

10 月 15 日（水）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

・松島法務大臣、葉梨法務副大臣、大塚法務大臣政務官、政府参考人及び衆議院事務局当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

盛山正仁君（自民）

- ・刑務所出所者等の再犯防止や社会復帰を支援する保護司の活動は、今後更に重要になると考えるが、保護司の待遇改善に対する取組について、法務副大臣の見解を伺いたい。
- ・オリンピック・パラリンピック東京大会が開催される2020年に向けて訪日外国人旅行者数を増加させるためには、スムーズな入国審査が重要であり、入国審査官の増員や顔認証技術を活用した自動化ゲートの導入等の出入国審査体制の拡充が必要と考えるが、法務省の対応について、法務大臣政務官に伺いたい。
- ・開発途上国に対する法制度整備支援等の国際協力を通して、我が国が率先して「法の支配」の理念を国際的にあまねく広めていくべきと考えるが、法務副大臣の見解を伺いたい。

遠山清彦君（公明）

- ・再犯防止のためには住居と雇用の確保が重要と考えるが、来年度の再犯防止強化のための施策の内容について伺いたい。
- ・性犯罪の罰則に関する検討会が設置されたが、暴行・脅迫がなくても強姦罪が成立する性交同意年齢を現行の13歳から引き上げることと、暴行・脅迫という強姦罪の構成要件の見直しは、早急に行う必要があると考えるが、この2点についての法務省の現時点での見解を伺いたい。
- ・改正児童ポルノ禁止法の施行後3か月間で、いわゆる3号ポルノに該当するとして検挙された件数について伺いたい。
- ・日本再興戦略などで外国人の受入れ促進を示しているが、単純労働者を受け入れないという従来からの方針がある中で外国人受入れ政策についての法務省の基本的な考え方について伺いたい。

柚木道義君（民主）

- ・「うちわ」の配布や議員宿舎等に関する自身の問題について「雑音」と発言したことを、衆議院法務委員会で謝罪し、発言を撤回する意思があるか、松島法務大臣に伺いたい。
- ・地元の盆踊り大会等での、肩書や氏名を記載した「うちわ」の配布が、公職選挙法に違反する疑いがあるとの指摘に対す

る見解及びそのような指摘を踏まえた辞任の意思の有無について、松島法務大臣に伺いたい。

- ・法務大臣就任前に議員宿舎は必要ないという発言をしたことと、現在、議員宿舎に入居していることとは矛盾しないか、また、従前の発言を撤回する意思はあるか、松島法務大臣に伺いたい。
- ・国土交通省等から随意契約により業務を受注している民間企業から大臣就任前に受けた献金について、返金する考えや他に同様の献金がないか調べる意思の有無について、松島法務大臣に伺いたい。

郡和子君（民主）

- ・選択的夫婦別氏制度の導入に積極的であった松島法務大臣が、「導入できないと考えている」旨発言したのは、どのような理由によるものか、伺いたい。
- ・平成13年の男女共同参画会議基本問題専門調査会「選択的夫婦別氏制度に関する審議の中間まとめ」において、「選択的夫婦別氏制度を導入する民法改正が進められることを心から期待するものである」と述べられているが、松島法務大臣の見解を伺いたい。
- ・国連女子差別撤廃委員会において、平成15年以後、選択的夫婦別氏導入に関する勧告が度々行われており、このまま制度を導入しなければ、勧告が形骸化する恐れがあると思うが、松島法務大臣の見解を伺いたい。
- ・国連女子差別撤廃委員会において、男女ともに婚姻年齢を18歳に設定すべきという勧告がされているが、この勧告において述べられている理由について、松島法務大臣としては納得しているのか伺いたい。

階猛君（民主）

- ・松島法務大臣が挨拶において「法律を扱う人は責任を持たなければならない」と述べたことについて、①「法律を扱う人」には法務大臣も含まれるのか、②法務大臣は「法律を扱う人」の中で最も重い責任を持つと考えるのか、③「責任を持つ」ことには、法務大臣は自ら法律を順守して国民の模範となることも含まれるのか、④法の解釈をみだりに変えず法の安定

性を確保することも含まれるのか、伺いたい。

- ・松島法務大臣の選挙区内における「うちわ」の配布について、うちわに「討議資料」と記載すれば公職選挙法に違反することにはならないのか、総務省に伺いたい。また、法務大臣は「うちわ」の作成・配布に当たって、適法性について当局に確認したのか、伺いたい。
- ・松島法務大臣の赤坂議員宿舎への入居について、議員宿舎の入居基準では東京都23区内に住居を有する議員は原則として入居できないものとされているにもかかわらず、入居した理由を伺いたい。また、警備上の理由等により入居したにもかかわらず、自宅マンションに泊まったり選挙区内のお祭りを訪ねて回ったりした理由について、伺いたい。
- ・松島法務大臣の初登庁の際、法務省に到着後、いったん議員会館に戻り、再度登庁した事実の有無及びその経緯について伺いたい。また、大臣の出迎えのため法務省職員の帰宅を遅らせることとなったことに問題はないのか、伺いたい。
- ・松島法務大臣の規範意識の鈍麻、無責任な言動等を踏まえれば、法務大臣としての資質に欠け、辞任すべきであると考えますが、松島法務大臣の見解を伺いたい。

井出庸生君（維新）

- ・松島法務大臣が自身の選挙区で配布した「うちわのようなもの」について、これがうちわなのか、資料なのかについて、松島法務大臣の認識を伺いたい。
- ・この「うちわのようなもの」の作製については、うちわ作製会社に発注されていることから、資料として作製されたものではないとの疑念があるが、松島法務大臣自身が議員として代表を務める自由民主党東京都第十四選挙区支部の政党交付金使途等報告書の支出の内訳表の支出の目的欄には「資料印刷」と記載されている。これは、虚偽報告ではないかと思料されるが、松島法務大臣の見解を伺いたい。
- ・松島法務大臣の考える犯罪被害者の権利とは何か、見解を伺いたい。
- ・平成16年4月9日の衆議院法務委員会での質疑の際の「人を1人殺したら死刑になるのが当たり前と思っている」との自身の発言における現在の松島法務大臣の見解を伺いたい。

丸山穂高君（維新）

- ・法務大臣の立場としてセキュリティ上の理由から赤坂議員宿舎に入居したということであれば、むしろ法務省宿舎や他の公務員宿舎に入居した方がよいと考えるが、赤坂議員宿舎に入居した理由について、松島法務大臣に伺いたい。
- ・平成26年10月9日の泉南アスベスト訴訟最高裁第一小法廷判決において、国の責任を認める判決が言い渡され、厚生労働大臣が被害者らに謝罪したとのことであるが、同判決に対する松島法務大臣の見解を伺いたい。
- ・更生保護サポートセンターの拡大等、保護司の方々に対する

支援の充実強化を図る必要があると考えるが、予算的な面も含めて保護司の支援のための充実強化策の内容について、松島法務大臣に伺いたい。

- ・2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、出入国管理体制の強化として入国審査官の増員を要求しているが、同大会終了後の人員の配置をどうするか、また、訪日外国人旅行者数の目標達成ができなければ増員計画の見直しも検討すべきと考えるが、松島法務大臣の見解を伺いたい。

西田讓君（次世代）

- ・国民すべての幸福に対する解釈をまとめることは不可能であるため、国民を幸福にするという姿勢では恣意的な政治に陥る可能性があると考えますが、松島法務大臣の見解を伺いたい。
- ・人権擁護の観点から、犯罪被害者の顔写真や氏名等が報道されることは好ましくないと考えますが、松島法務大臣の見解を伺いたい。
- ・松島法務大臣は種々の政治信条を立場により撤回や変更しており、このような対応は御都合主義であると考えますが、松島法務大臣の見解を伺いたい。
- ・松島法務大臣は世論が反対であるので選択的夫婦別氏の導入はできないと発言したが、選択的夫婦別氏に関する世論調査において、推進に賛成する意見が多数を占めた場合の対応について、松島法務大臣に伺いたい。

鈴木貴子君（無）

- ・取調べの録音・録画の検討が何故始まったと考えているのか、理由及び背景について、松島法務大臣の所見を伺いたい。
- ・松島法務大臣が思い描いている検察改革について、検察の風土や組織の何が悪くて何を変えなければならないと考えているのか、その所見を伺いたい。
- ・再審無罪となった者の人権に配慮するため、法務大臣がえん罪被害者の生の声を聴く機会を設ける必要があると考えているが、松島法務大臣の所見を伺いたい。